

安全データシート (SDS)

製品及び会社情報

製品名 モノタロウ リークチェック
会社名 株式会社MonotaRO
所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名 商品お問合せ窓口
電話番号 0120-443-509
FAX番号 0120-289-888
緊急連絡先 所在地と同じ
整理番号 M170330

作成日 2017/03/28

危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

可燃性、引火性エアゾール 区分 1

※記載のない項目は「区分外」、「分類対象外」、「分類できない」のいずれかである。

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報

可燃性・引火性が高いエアゾール

注意書き

応急措置 p.1 に記載

取り扱い p.2 に記載

保管 p.2 に記載

廃棄 p.3 に記載

物質の特定

単一製品・混合物の区別 混合物
成分 水、界面活性剤、噴射剤(ジメチルエーテル(DME))
CAS No. 企業秘密のため非公表
国連番号及び国連分類 1950、クラス 2.1
労働安全衛生法 非該当
消防法 非該当
P R T R 非該当

応急措置

目に入った場合 直ちに清浄な水で十分、洗浄する。まぶたの裏まで完全に洗浄後、速やかに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 水及び石けんを使用して、十分に洗い落とす。
外観に変化がみられたり、痛みがあったりする場合は医師の診断を受ける。

吸入した場合 大量に吸い込んだ場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移し暖かくして安静にする。
直ちに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 誤って飲み込んだ場合は、安静にして直ちに医師の診断を受ける。
口の中が汚れている場合は水で十分、ゆすぐ。

火災時の措置

消火方法

適切な保護具（耐熱着衣、手袋、マスク、眼鏡等）を使用する。
可燃物を周囲から速やかに取り除く。
高温にさらされる製品容器に水をかけて冷却する。
消火活動は風上から行う。

消火剤

高温で破裂する恐れがあるため、消火活動は十分に距離を取る。
炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂
棒状の水は火災拡大を引き起こす恐れがあるため、使用しない。

漏出時の措置

1. 適切な保護具（保護着、手袋、マスク、眼鏡等）を着用する。
 2. 漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
 3. 廃棄物等は関係法規に基づいて処置をする。
 4. 乾燥砂、土、ウエス等に吸着させて回収する。
 5. 大量の流出には盛り土などで囲って流出を防止する。
- その際、土壌、河川、湖沼、海、下水道等に排出されないように注意する。

取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い
1. 換気のよい場所で取り扱う。
 2. 周辺で火気、スパーク等の発火源となるものや高温物の使用を禁止する。
 3. 作業中は帯電防止型の作業服、靴を使用する。
 4. 40℃以上の場所、火気のある場所では取り扱わない。
 5. 30 秒以上の連続使用をしない。
 6. 密閉された場所での作業の場合、十分な局所排気装置を設け、適切な保護具を着用する。
 7. 内容物を眼、皮膚に接触させない。
 8. 炎に向けて使用しない。
 9. 使用後は手洗い、うがいを十分する。
- 保管
1. 直射日光を避け、火気、熱源がない風通しのよい所に保管する。
 2. 水回りや高湿度の場所での保管は避ける。
 3. ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触、同一場所での保管を避ける。
 4. 子供の手の届かない所に保管する。

暴露防止措置

管理濃度及び許容濃度

	界面活性剤	ジメチルエーテル
管理濃度	データなし	データなし
許容濃度	データなし	データなし
	ACGIH (TWA)	データなし

設備対策

1. 局所排気装置をつけて、蒸気が滞留しないようにする。
2. 取り扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれないような設備とする。
3. 屋内作業の場合は、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備とする。
4. 取り扱い場所の近辺に洗顔及び身体洗浄のための設備を設け、その位置を明確に表示する。

保護具

- 呼吸系の保護具 必要であれば適切な保護マスクを着用する。
- 目の保護具 必要であれば適切な保護眼鏡を着用する。
- 皮膚・身体の保護具 必要であれば適切な保護手袋、保護着を着用する。
- その他の注意事項 着衣が内容物で濡れた場合は、直ちに着替える。
濡れた着衣は洗濯してから着る。

物理/化学的性質		
原液 噴射剤	外観	無色透明液体
	臭気	少しあり
	引火点	なし
	発火点	なし
	沸点	100℃
	密度	1g/cm³(参考値)
	外観	無色透明液体
	臭気	やや甘味臭
	沸点	-24.8℃
	融点	-141.5℃
	引火点	-41.1℃
	密度	0.66g/cm³
	蒸気圧	0.5MPa (20.8℃)
危険性情報		
反応性	特にないが 40℃以上になると缶が破裂する恐れがある。	
安定性	酸化剤との接触は危険なため避ける。	
その他	不完全燃焼した場合、一酸化炭素を発生することがある。	
有害性情報	界面活性剤：急性毒性 LD ₅₀ (ラット 経口) 2500mg/kg	
環境影響情報		
漏洩時及び廃棄等の際には、環境に影響を与える恐れがあるので取り扱いに注意する。 土壌、河川、湖沼、海、下水道等に直接流れないように注意する。		
廃棄上の注意		
容器などの廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。 焼却処理を行わない。 中身を完全に使い切り、噴射音が消えるまでボタンを押し、ガスを完全に抜いてから捨てる。 中身の入った物は絶対に廃棄しない。またガスを抜く際、火気及びミストの吸入などについて注意する。		
輸送上の注意		
取り扱い及び保管上の注意の項に従う。 容器に漏れの無いことを確かめ、転落、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。 運搬に際しては容器を 40℃以下に保ち、転落、落下、損傷がないように注意する。 陸上運送 消防法、労安法の定めるところに従う。 海上運送 船舶安全法の定めるところに従う。 航空輸送 エアゾール製品の場合、航空法では輸送できないものになっており注意する。		
適用法令		
船舶安全法	危険物（高圧ガス）	
航空法	航空法に定めるところに従う。	
労働安全衛生法	施行令 危険物（引火性のもの、可燃性のガス）	
参考文献		
参考文献	1. 製品安全データシートの作成指針（日本化学工業協会） 2. GHS 対応による混合物（化学物質）の作成手法の研修テキスト（改訂版） （中央労働災害防止協会） 3. 原料の SDS	
注意事項	安全データシート(SDS)は通常の手続きを想定して作成したものです。 SDS は安全の保証を約束するものではありません。取扱者は状況に応じた処理を行ってください。 SDS の内容は新たな知見により予告なく変更することがあります。	